

# 札幌市の現在の人口構成とこれから

市立札幌旭丘高等学校 札幌探求ピーポー部：山本悠悟・木戸健人・立石穰

## 研究の概要

自分たちがこれからも生活して行く札幌市を人口という観点から、理解を深めるためにここ20年間の人口における推移を研究した。その結果、人口が多い区と少ない区の差が広がってきているという結論を得た。

## テーマ設定の理由、背景、目的等

- ①札幌市10区の人口について、さまざまな観点から見た要因、関係性
- ②日本の人口が現在減少傾向にあることによる、私たちが住んでいる札幌の人口への影響
- ③これから私たちが生活する中での、人口の推移による暮らしの変化

これら①～③を知ることが本探求の目的である。

## 研究方法

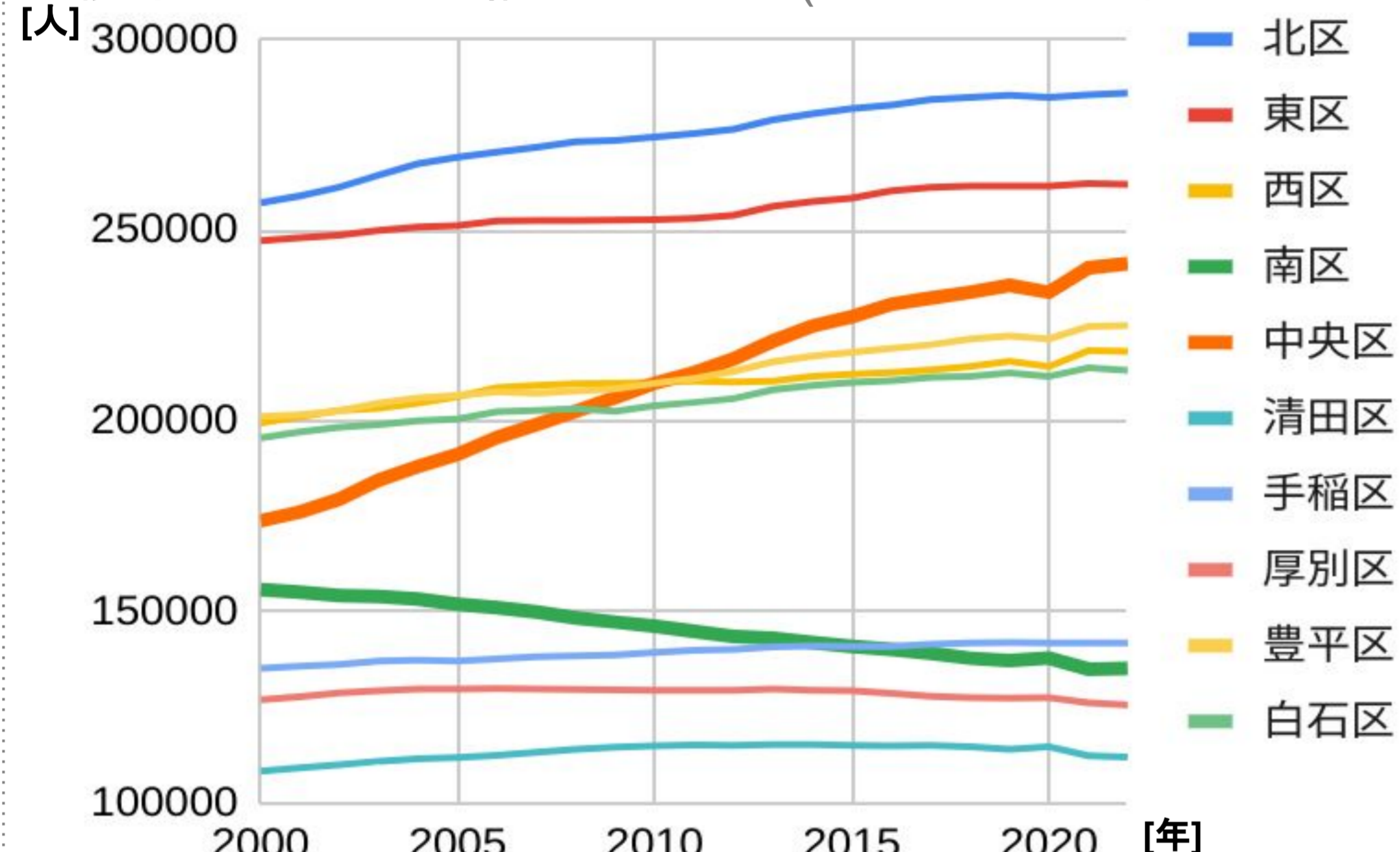
1. DATA-SMART CITY SAPPOROから2000～2022年までのデータを調べ、スプレッドシートに入力して、各区の人口推移のグラフを作成する。
2. Google Earthを用いて、それぞれの区の地形や街並みを調べる。
3. 札幌市の公式ホームページを用いて、現在札幌市が出している条例や札幌の歴史の記録を調べる。

## 仮説

- ・中央区付近に人口が集中している。
- ・過密部と過疎部との差が開いていく。
- ・南区の人口は減少していく。

## 研究内容、結果

札幌市10区の人口構成のグラフ(10万人を下端として作成)



札幌市10区の人口(2000～2022年10月)を調べ、それを元にグラフを作成した。

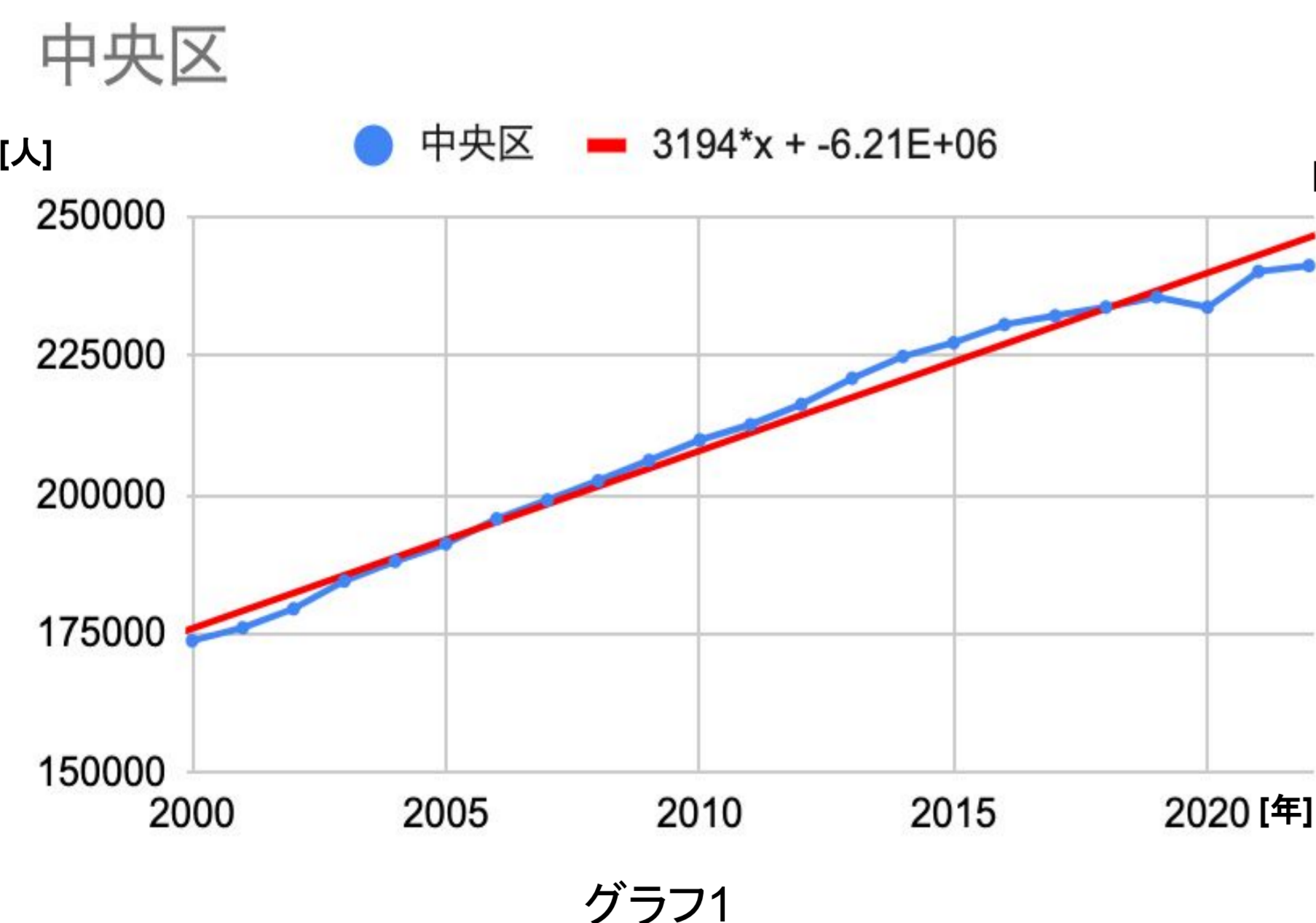
### 【結果】

- ・中央区は22年間の増加率が他の区よりも高い
- ・南区は22年間の減少率が他の区よりも高い
- ・2000年に比べ、2022年は人口が多い区と少ない区  
の二極化が進んでいる

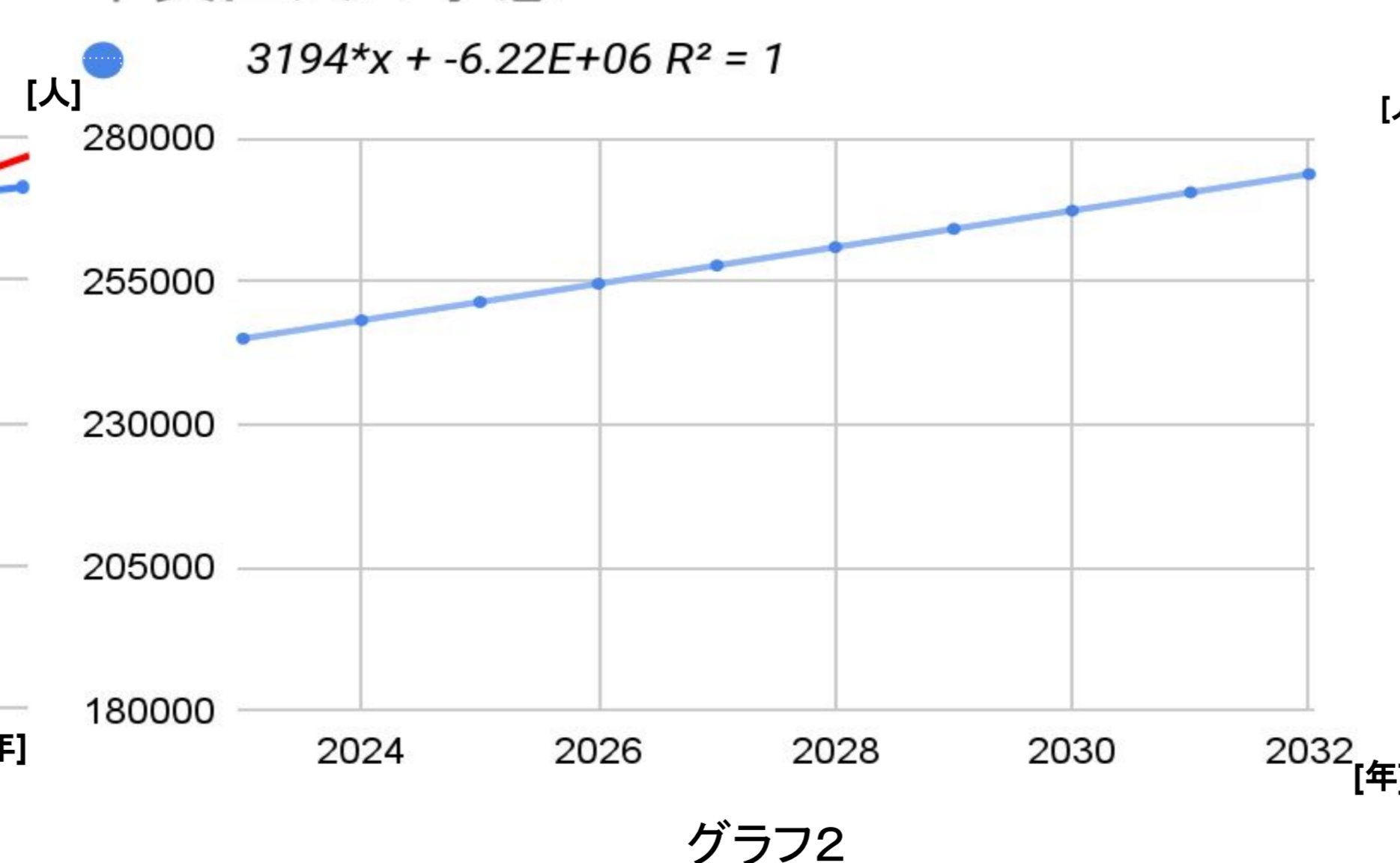
## 考察

### 中央区の人口について

- ① Google スプレッドシートを用いて、中央区の人口のグラフを作成し、回帰直線を引く(グラフ1)
- ② 毎年平均約3200人ずつ増えているので人口はこのまま増加していくと考えられる
- ③ グラフ1で求めた回帰直線を元に、2023年以降の人口を予測する(グラフ2)
- ④ グラフ2より、2028年頃には人口約260,000人を越えると考えられる

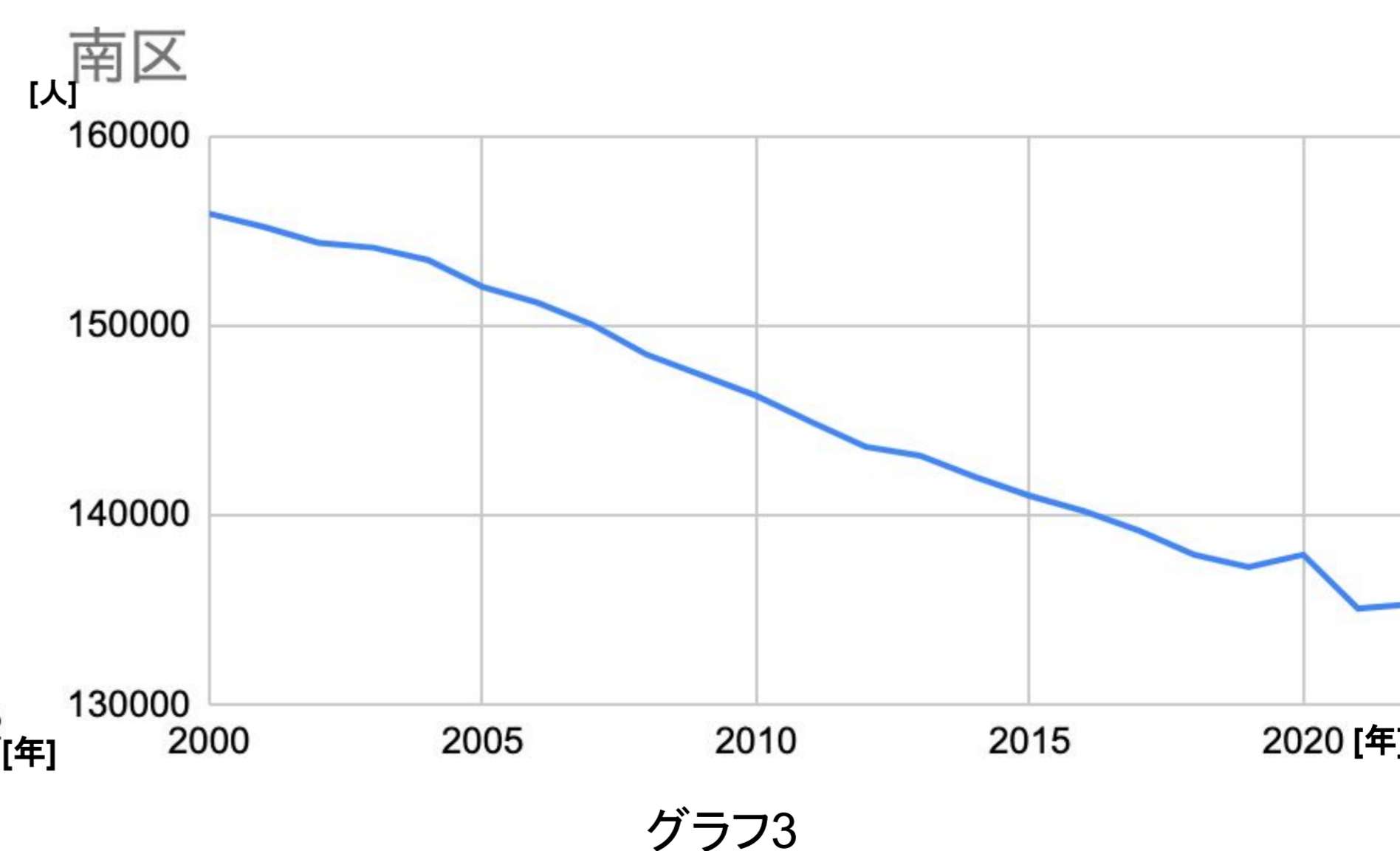


### 中央区人口予想



### 南区の人口について

- ① Google スプレッドシートを用いて、南区の人口のグラフを作成する(グラフ3)
- ② グラフ3より、南区の人口は減少しており、過疎化が進んでいると言える
- ③ 人口の減少具合から見て、新たに南区に人々が移住してくる可能性は低いと言える
- ④ ②と③の考察から、南区はこれからも過疎化が進み、人口が減少し続けると考えられる



## 使用した資料

- ・DATA-SMART CITY SAPPORO
- ・札幌市公式ホームページ
- ・各区公式ホームページ
- ・Google Earth

## 出典

- ・<https://data.pf-sapporo.jp/>
- ・<https://www.city.sapporo.jp/>
- ・<https://earth.google.com>